

滋賀県立

聴覚障害者センター

だより



—116号—

発行日 / 2025年1月10日

発行所 / 草津市大路2丁目11-33

TEL 077-561-6111

FAX 077-565-6101

HP <https://shigajou.or.jp>

新年のご挨拶

センター所長 中西 久美子

新年おめでとうございます。本年もご家族や地域の皆さまと共に輝かしい新春をそれぞれお迎えになられたことと心からお喜びを申し上げます。昨年はさまざまなことがあった一年でしたが、皆さまにとってどのような一年でしたでしょうか。

大変な災害・事故のニュースとともに明けた令和6年でした。東南海地震もいずれば発生するといわれており、いつどのような災害に見舞われるかわからない時代です。皆さまに二度と悲しい思いをさせることのないよう、一人ひとりの命と暮らしを守り、安心して暮らせるネットワークづくりを進めていくことが大事だと考えておりますので、日ごろから備えるようにしていただきたいと思えます。私は、施設長に就任し、3年が

経過しました。事業運営の難しさ、社会情勢の厳しさを改めて感じているところでございます。今年10月でセンターは設立30周年を迎えます。なによりもこの間、長きにわたってご支援をいただいた皆さまに感謝しお礼を申し上げます。今年はず、自分の足下をかため、当センター内のタテ・ヨコのきずなをより強いものにし、風通しもよくしたいと思えます。常に前向きに、明るく柔軟に援けあつて、この一年をともに成長していきたいでしょう。日頃、些細なことでもお気づきになることがありましたら、きこえない・きこえにくい人の福祉等の充実と適正な事業運営のためにも、教えていただけますと幸いです。

健康第一で、今年一年皆さまにとりまして素晴らしい年となりますようご祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

2025年 イベント自由押し!

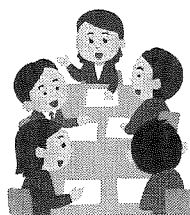
開催予告

日曜教室事業 青年講座

～きこえない・きこえにくい人たちに関わる福祉の変遷～

対象は、滋賀県内在住のきこえない・きこえにくい若い人たちです。一緒に楽しく学びましょう!

日時:
2025年3月15日(土)
13:30～16:30
滋賀県立男女共同
参画センター
G-NETしが
研修室A



① 2025年1月23日(木)
10:00～11:30(90分)
能登川コミュニティセンター
和室1・2

② 2025年2月22日(土)
10:00～11:30(90分)
キラリエ草津 5階
オープンスペース

※事前申込制/入場無料
授乳室、休憩室あり

開催予告

はじめての手話教室

子育て世代の方を対象に、ちいさいお子さんや赤ちゃんと一緒に参加できる手話教室を開催します。

開催予告

防災学習

滋賀県聴覚障害者
災害地域救援本部共催

講演とワークショップで、知識と行動力を身につけましょう!



【日時】
2025年2月15日(土)
13:30～16:30
【場所】
近江八幡市総合福祉センター
ひまわり館 研修室1・2・3
※参加費無料
きこえに関わらず参加可能
みんなで一緒に学びましょう!

11月24日(日)法人セミナーより

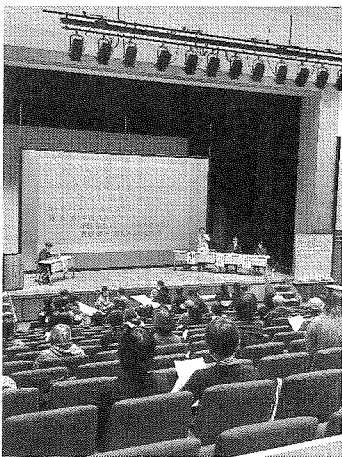
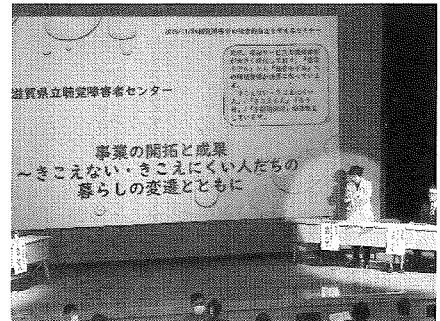
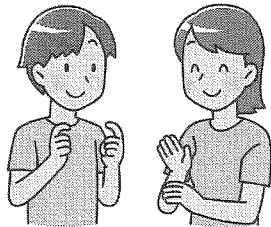
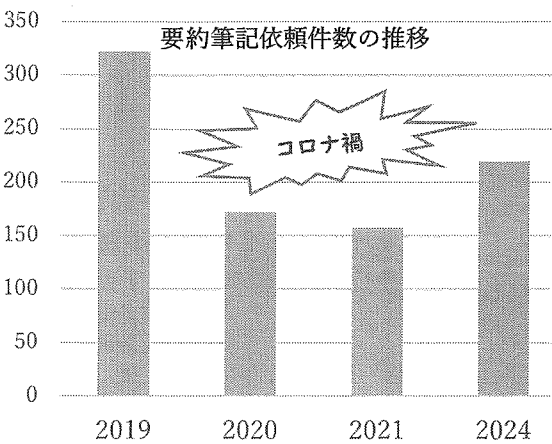
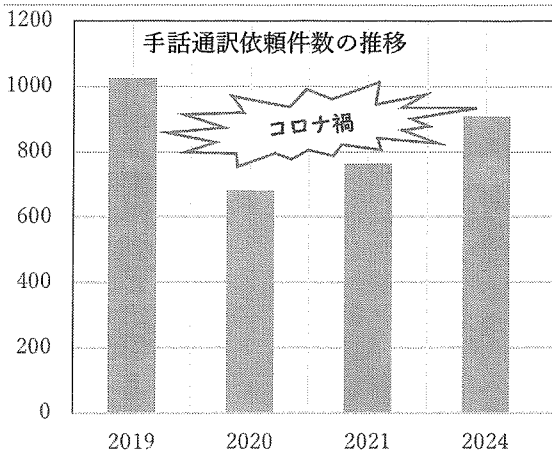
聴覚障害者センターの

10年を振り返って

2014年から2024年を振り返ると、「人への支援とICT（情報通信とコミュニケーション）」が顕著にあらわれた10年でした。

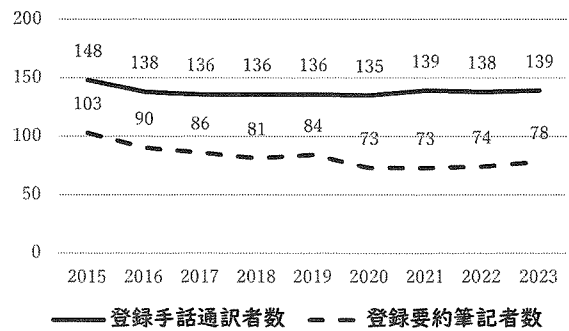
ひとつは、大津市聴覚障害者支援相談員設置事業が開始、拡大されたこと（2014年）、聴覚障害児および保護者サポート事業が滋賀県の事業として充実したこと（2015年）、電話リレーサービス（2018年）、遠隔手話通訳（2020年）が開始されたことです。

また、新型コロナウイルス蔓延の影響も大きく表れました。



- これから聴覚障害者センターがめざすことは、
- ① センター事業と法人事業の強化
 - ② 豊かな暮らしを支える人材確保・意思疎通支援者の拡充
 - ③ 社会資源と専門職がつながるネットワーク強化です。

手話通訳者・要約筆記登録者数推移



意思疎通支援者の数 わずかに減ってきています

2024年度 登録意思疎通支援者 合同研修会を 開催しました

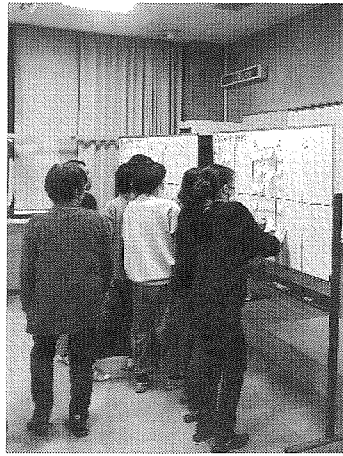
意思疎通支援者（手話通訳者・要約筆記者）は、滋賀県への登録と同時に、自らの技術と知識の向上に努めることが義務づけられ、研修会に参加することが責務となります。今回は、手話通訳者と要約筆記者が合同で、日ごろの派遣現場で出会う課題について学習をしました。

学習会への参加は31人。登録年数ごとに5〜6人のグループに分かれ、「意思疎通支援者としての動き方」を検証しました。

意思疎通支援者は、派遣元である聴覚障害者センターから、「派遣に関する依頼書」が送られ、ここから通訳の準備が始まります。派遣日当日は、依頼書にある日時・場所・内容等にもとづき現場で通訳を行います。終了後は「報告書」を提出し、課題を派遣元と共有します。

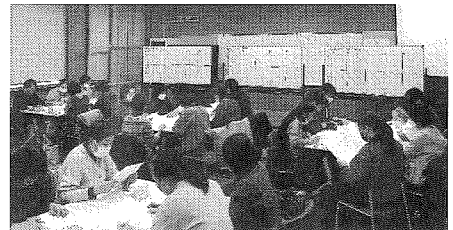
グループワークでは、この派遣の流れをふまえて、依頼書を確認

すること、足りない情報はなにか、気にかかることはないかなど、実際のケースをモデルにした「講演会への依頼書」を囲んで話し合いました。気になる部分を付箋紙に記入し、他グループ全体で共有します。



登録年数が浅いAグループでは、多くの意見がでて話し合いが盛り上がり、時間が足りなかったようです。登録年数が長いEグループでは、AからDグループの発表ではみられなかった視点にポイントをおき、なぜ問題なのかを理論的に説明する場面もありました。各グループで手話通訳と要約筆記の動き方の違いを知ること、共同する大切さも学べたようです。経験を積むことも大切ですが、経験値の違いをいかした学習も非常に効果的でした。

派遣元としても、通訳者が事前準備をするための情報や現場で安心して通訳ができる環境整備などをよりいっそう整えていかなければならないと気を引き締めました。



障害者週間 啓発イベントに 参加しました

「障害者週間（毎年12月3日～9日）」は、障害者基本法により、国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として設定されました。

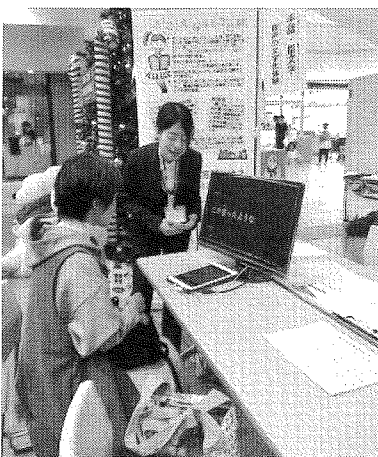
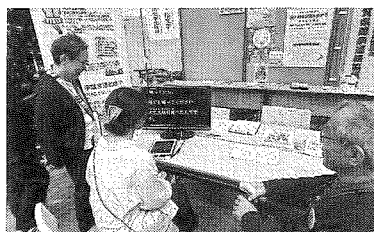
障害者週間の啓発活動として、12月2日（日）にイオンモール草

津で障害者理解を深めるための体験コーナー等を実施しました。日曜日ということもあり、レストランコートの前はたくさんの方の往来があり、体験者の中には、お店の順番待ちの間に立ち寄ったという人もいました。

聴覚障害者福祉協会のブースでは、手話・指文字の体験と、音声の文字化体験を実施しました。文字変換アプリを入れたタブレットに話しかけた体験者は、接続したモニターに文字化された自分の発言が映ると、「おお、すごい！」「思っていたより変換が正確ですね！」と感嘆の声を上げていました。技術の進歩に驚く体験者の方に、なぜこういったものが必要なのか、どんなときに使えるのか、アプリをダウンロードしておけばスマホでも使えることなどを説明しました。

その後、手話と指文字で自分の名前を伝えてみるという体験もしました。体験者は中学生～成人の20人ほどでした。中には、「学校で手話を習った」「簡単なあいさつだけ知っている」という方もいらっしやいました。どの人も普段身近にきこえない・きこえにく

い方はいらっしやらないとのこと、説明を聞いて初めて気づくことがあったようです。こういった機会にきこえない・きこえにくい人の生活に触れ、理解を深めていくことは非常に重要だと感じました。この日のことが、少しでも体験者の記憶に残り、いつかどこかで、共生社会を実感できる行動につながってほしいなと期待が膨らみます。



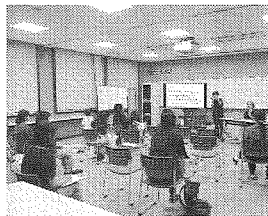
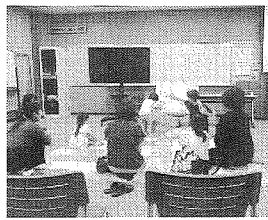
聴覚障害児及び保護者サポート事業 親子で楽しむ講演会

9月28日(土)、滋賀県立聴覚障害者センター研修室にて「親子で楽しむ講演会」を開催しました。今回は大阪のNPO法人こめっこさんから講師をお招きしてご講演と絵本よみをしていただきました。講演では、講師がご自身の体験も踏まえて、周囲との関係性やきこえについての考え方など、貴重なお話をしていただきました。その後、こめっこさんの《手話ばんばん》が始まると、子どもも保護者も一緒に手を動かして魅力的な作品を楽しみました。手話での絵本よみでは、子どもたちは物語の世界に引き込まれて、真剣なまなざしで見入っていました。

その後、意見交換会として講師と保護者の方々がひびぎを突き合わせてお話しされました。みなさん今の気持ちや悩みごとを、思い思いの言葉でつむがれました。ご自身と近い体験をされている方のお話「そうそう、わかる!」と共感されたり、初対面の方ばかりでしたが、意見交換会というより

サロンのような雰囲気でも和気あいあいとお話が進みました。子どもたちも保護者の意見交換会が始まる頃にはすっかり打ち解けたようでした。センター職員・スタッフ渾身の手作りおもちゃなどで楽しんでいました。

滋賀県立聴覚障害者センターは、未来あるきこえない・きこえにくい子どもたちのため、共に考え、歩んでいく姿勢を忘れず、今後も企画を考えていきたいと思っております。最新情報は随時HPにアップしますので、ぜひチェックしてみてください。



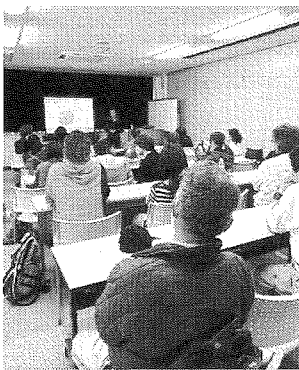
いきいき情報教室 防災講座&交流会 in 野洲

11月14日(木)、コミュニティセンターやすにて、いきいき情報教室「防災講座&交流会」を開催

しました。参加者は18名。前半は、ふくろうの会さん考案の企画で交流会をしました。まちがい探いや計算問題など、みなさん頭脳をフル回転させて挑んでいました。チーム対抗で、チーム内外問わずアドバイスをしたり、解答スピードを称えあったり、交流会は楽しい雰囲気でも進みました。

後半は、防災士の小林由妃氏による講演でした。災害はいつ起きるか分かりません。他人事ではなく、自分や自分の大切な人を守るために、防災・減災について繰り返し学習することが大切です。

今回のいきいき情報教室「防災講座&交流会」は、3月13日(木)の米原市役所市民交流エリアで開催予定です。滋賀県内在住の聴覚障害者の方は誰でも参加できます。この機会を利用して、仲間と集まって楽しく学習してみませんか？



タツノオトシゴ

今年の干支は巳。蛇は苦手との声を聞くことも多い。私もガラスの壁越しなら平気だが、どちらかといえば苦手だ。しかし、蛇は豊穰や金運を司る神様として多く祀られているし、脱皮をすることから医療、治療、再生のシンボルともされている。滋賀県にも蛇にまつわる神社、仏閣がありそうだと思って調べてみた。竹生島神社の弁財天は蛇や龍が神使、賀茂神社(近江八幡市)の御神木には白蛇が棲んでいると伝えられ、御神木を見ると「幸せになる」と言われているそう。今年は久しぶりに神社仏閣巡りをしてみようかな。御朱印帳を持って。

(M・O)